

令和5年度シラバス（1年生用）

教科	国語科		科目	現代の国語	単位数	2
学年	1 年生	コース	共通			
使用教科書	高等学校 現代の国語（数研出版）					
副教材等						

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
	定期考査の配点基準（目安） 55%	定期考査の配点基準（目安） 45%	

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1学期	評論の読み方 対比の構造	・文章中の表現について、自分の考えを具体的に説明する。 ・文章内容に関連した具体例を探し、その内容を簡潔にまとめる。	中間考査
	一般論と主張 実用の文章	・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめ、意見交換をする。 ・筆者の主張に対する自分の考えを、実社会の状況を踏まえて文章にまとめる。 ・文章の内容を踏まえて考えたことを、根拠を明示して話し合う。	期末考査

2 学 期	具体と抽象	・ 文章内容に関連した具体例を探し、その内容について詳細に調べる。 ・ 文化によって分節の仕方が異なるものを挙げ、その背景にある文化の違いについて、自分の考えを説明する。 ・ 自分の考えが的確に伝わるように、適切に引用するなど、説明の仕方を考えて書く。	中 間 考 査
	視野を広げる	・ 筆者の考え方に対する自分の意見を、具体例とともに説明する。 ・ 文章中の表現について、文章の論理の展開を捉えて説明する。	期 末 考 査
	実用の文章	・ 集めた情報と検討内容を資料にまとめ、発表する。	
3 学 期	表現技術の実践	・ 調査したことをまとめ、プレゼンツールを使用して発表する。 ・ 反論を想定して発言したり、論理的に考察を深めたりしながらディベートを行う。	学 年 末 考 査
	思考を深める－関連付けて読む	・ 文章中の表現について、文章の論理の展開を捉えて説明する。	
各学期の観点別学習状況の評価の方法			
知識・技能＝定期考査及びワークプリント			
思考・判断・表現＝定期考査及び授業時の発表、グループ活動、レポート作成			
主体的に学習に取り組む態度＝授業時の発表・活動、ノート、レポートの内容			
学年末の評価			
各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。			